

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(10/10)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの 平均値 にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の 進捗に関する評価	II 支援措置の活用と 地域独自の取組の状 況	III 現地調 査時の指 摘事項及 び対応状 況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
畜産バイオマス の高効率利用、 炭化・灰化利用 による環境調和 型畜産振興特区 (群馬県)	準	C 2.7	D 2.1 進捗度 ・超省エネルギー炭 化・灰化装置の実 用化(鶏糞の炭化 物・灰化物利用量) 0% ・低温ガス化装置の 実用化(家畜排せ つ物のエネルギー 利用量)(※) 等 (※)は定性的評価	B 3.8 財政支援等 ・地域イノベーショ ン創出実証研究 補助事業(超省エ ネルギー炭化・灰 化装置実証試験 事業) 地域独自の取組 ・ぐんま新技術・新 製品開発推進補 助金(技術開発の 補助)等	-0.25	<p>・現状で「低温ガス化装置」と「炭化・灰化装置」の<u>実証実験だけの事業になっており、それ以外の取組(※1)も必要ではないか。</u></p> <p>・<u>進捗管理について具体的な事項による定性評価の検討(※2)が必要ではないか。</u></p> <p>・<u>ガス化事業と炭化・灰化事業との連携により得られる、本地域での畜産バイオマスに対する具体的な効果の記述が求められる。</u></p> <p>※1:(例)FITなど関連制度が年々変わることに対応した事業の見直しを見直す等。</p> <p>※2:(例)順調に進んでいるとする根拠等。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。